

## 第21次調査の概要

### どこを（調査場所）



赤線は平成23(2011)年3月8日に国指定された範囲

### いつ（調査期間）

平成18(2006)年3月7日～6月6日

### だれが（調査した人）

赤坂遺跡調査団

### 調査概要

所在地  
調査面積  
調査原因  
主な遺構  
主な遺物

三浦市初声町三戸字ハタ251番外9筆

1,835㎡

宅地造成工事に伴う調査

住居址27軒 溝状遺構1条

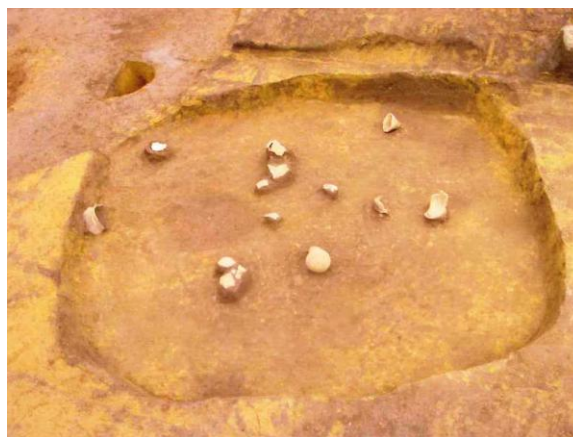
久ヶ原期土器片・勾玉・青銅製銅環と青銅片・ガラス小玉・炭化穀類・炭化種子・魚歯や骨・敲石・砥石

特記事項

弥生時代中期の宮ノ台期に属する住居址は、1軒検出され、貼床を切る巨大住居の柱穴と思える大きな穴がある。2A号住居址は、久ヶ原期の住居址と様相を異にしており、床面はほぼ全面にわたって堅く真っ赤に焼けているが、通常の火災住居でみるものとは違っている。焼けた土の塊が炉付近から大量に出土し、床面には敲打や砥石に使用したと思われる石器が出土している。（参考文献：『神奈川県三浦市赤坂遺跡発掘調査概報 宅地造成工事に伴う第21次調査・2006年10月』）



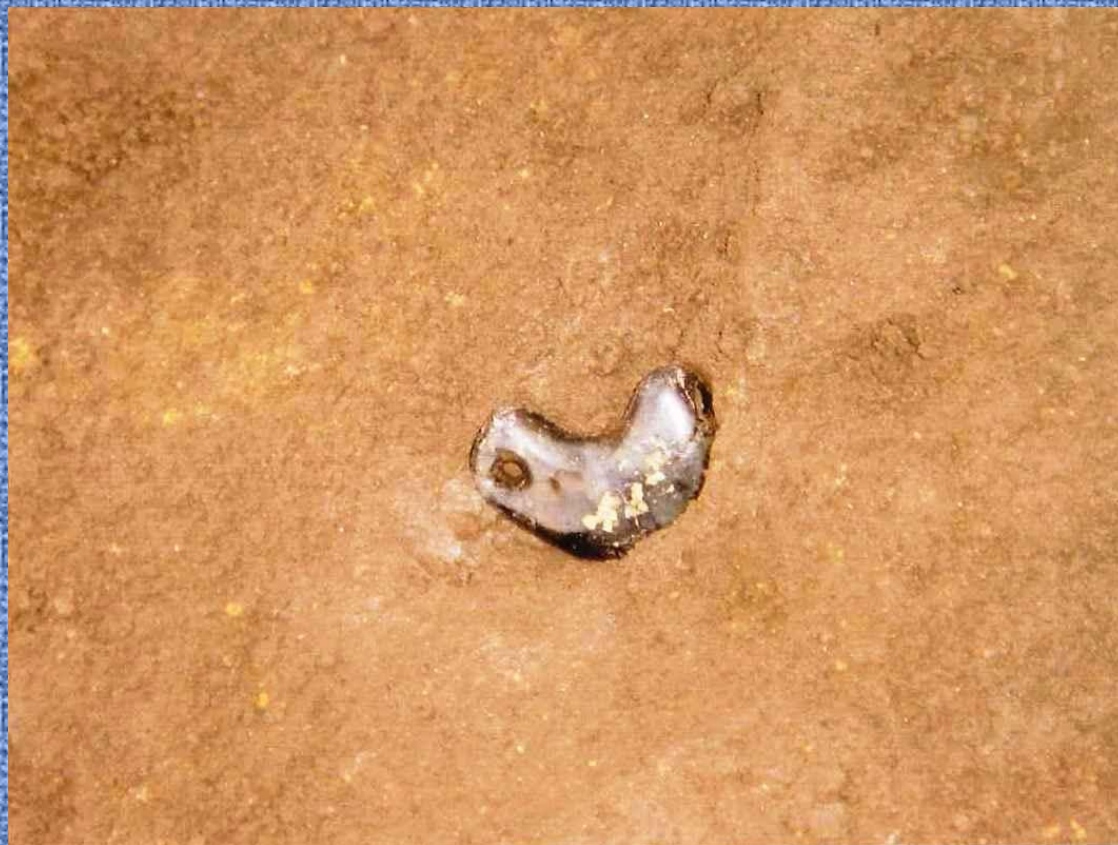
2A号住居址より出土した勾玉の出土状況。この他にも、青銅製銅環などが一緒に出土している。（出典：『神奈川県三浦市赤坂遺跡発掘調査概報 宅地造成工事に伴う第21次調査・2006年10月』）



12号住居址内の土器の出土状況。（出典：『神奈川県三浦市赤坂遺跡発掘調査概報 宅地造成工事に伴う第21次調査・2006年10月』）



久ヶ原期土器片(出典：『神奈川県三浦市赤坂遺跡発掘調査概報  
宅地造成工事に伴う第21次調査・2006年10月』)



2 A号住居址より出土した勾玉の出土状況。この他にも、青銅製銅環などが一緒に出土している。  
(出典：『神奈川県三浦市赤坂遺跡発掘調査概報 宅地造成工事に伴う第21次調査・2006年10月』)



ガラス小玉(出典：『神奈川県三浦市赤坂遺跡発掘調査概報 宅地造成工事に伴う第21次調査・2006年10月』)



敲石（たたきいし）・砥石（出典：『神奈川県三浦市赤坂遺跡発掘調査概報 宅地造成工事に伴う第21次調査・2006年10月』）



2 A号住居址と焼土跡(出典：『神奈川県三浦市赤坂遺跡発掘調査概報 宅地造成工事に伴う第21次調査・2006年10月』)